



日本維新の会 衆議院議員

# 田沼たかし

千葉1区  
稲毛区・美浜区・中央区



発行日：平成二十五年四月二十日

田沼新聞 47号

【事務連絡】

## 稲毛の若き即戦力！田沼の後継者、始動！



私が市議会議員を辞職してから、数か月が経過しました。未だに私が座っていた席は空席となっており、任期の途中での辞職・衆議院議員選挙出馬となってしまったこと、大変心苦しく思っています。

### 阿部さとし

この度、私の空けた穴を埋めるべく、さんが立ち上がってくれました。

阿部さとしさんは、これまで私の後援会の青年部長として、そして秘書として支えて頂いた、私の最も信頼する方です。歴史や政治を学ぶ勉強会の仲間でもあります。

前職は大学の先生であり、**歯科医師**でもあります。この度はそのキャリアを投げうっての挑戦となります。市政でも、特に医療・社会保障の分野において、経験に基づいた専門的な指摘ができると確信しています。

また、大変**子煩悩な父親**でもあり、育児環境の支援に力を尽くしてくれること、間違いなしです。

**たかし**から**さとし**へとバトンを引き継いで参ります。今後とも、田沼たかし、阿部さとしにご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 阿部さとし 市政への提言



#### 育休の経験で子育てを応援します。

- ・企業の育児環境整備をサポートします。
- ・多様なニーズに対応できる保育環境の整備を促進します。



#### 専門家として医療や高齢化に取り組みます。

- ・診療情報の解析と保険料の未納率減少で、医療費のムダと不公平を是正します。
- ・住み続けた自宅で受診する在宅医療を推進します。



#### 大学教官のキャリアを教育再生に活かします。

- ・世界で活躍できる日本人を育成する教育を目指します。
- ・自らの国に誇りを持てる教育を目指します。



#### 稲毛在住19年。我が街稲毛を守ります。

- ・独居死とならない地域の絆を支援します。
- ・稲毛駅周辺の再開発に区民の意見が反映されるよう行政との架け橋になります。

### 阿部さとしプロフィール

- 1975(昭和50)年6月23日生まれ 37歳(田沼と同年) 小仲台在住19年
- 東京歯科大学卒、東京医科歯科大学大学院修了
- 歯科医師、歯学博士
- 東京医科歯科大学附属病院、帝京大学医学部等で臨床、研究、教育に従事

専門は、**公衆衛生**。医療のあり方や、医療コストについての論文多数。

- 厚生労働省科学研究班の**分担研究員**として医療の安全管理等多数の提言
- 中国、タイなど10数ヶ国で歯科医療ボランティアを毎年実施
- 田沼たかし後援会青年部長、田沼たかし秘書を歴任
- 家族構成:妻、長女、次女
- 長女誕生の際、業界で初めて父として育児休暇を取得
- 趣味は料理(**カレーには一家言あり**)



阿部さとし  
連絡先

事務所 稲毛区小仲台4-14-8 笠川ハイツ103(田沼事務所の隣)  
TEL 043-306-1586 FAX 043-306-1587  
Mail info@abesatoshi.com  
Blog http://www.abesatoshi.com



# 県総支部発足！参院選の候補予定者も決定！

4月1日に、「日本維新の会 千葉県総支部」が発足しました。総支部長には、西田ゆずる議員(千葉9区)が就任。

同時に参院選の公認候補予定者も発表。千葉県選挙区では、**我孫子市議会議員の**

## 久野晋作

さんが立候補予定者として決定しました。久野市議は、私が所属する政治塾の同志であり、最も尊敬する先輩です。これ以上将来世代への先送りには許されない！との思いから、維新の会からの立候補を決断してくれました。

安倍政権に対する最初の審判となる参院選。**政権に緊張感を与え、改革を進める**ためにも、維新の躍進は非常に重要です。維新の改革は始まったばかり。同志を増やし、改革を実現します！



↑久野晋作我孫子市議

# 初の国会質問！教育委員会制度改革について追及！



前号で、文部科学委員会の所属となったことをご報告しましたが、**国会議員当選後初めての委員会質問**を3月27日に行いました(その後、4月半ばまでに、合計4回の委員会質問)。

自民党・安倍政権も維新と同様に教育委員会制度改革を唱えています。1月の委員会においても、「**来年の通常国会に抜本的な見直し法案を提出する**」旨を大臣が宣言しました。しかし、どのような方向性で行くのか？どこまで踏み込むのか？具体的に見えてきません。改革がきちんと行われるよう質問を行いました。

## 田沼の質問

## 政府側の答弁

首長が「こういう教育がしたい!」と考えても実行できない今のシステムはおかしいと思うが、大臣も同じ考えか?

下村大臣:現場の問題に迅速に対応できるような体制づくりが必要であるが、教育の政治的中立にも留意しなければならない。(田沼:なんだか危機感がないような答弁ですね…)

「首長が変わるたびに教育方針が変わっては子供達に影響が大きい」というが、教育基本法等の規制や、議会のチェックによって、行き過ぎは抑制できるのでは?

義家政務官:そもそも法律を守っていない自治体があるため、そうは断言できない。(田沼:そんな自治体は少ないし、そもそも別の議論では?)

教育委員会を、独立した行政委員会ではなく、首長の部下として位置付けるべきでは?

下村大臣:現行の制度は変えるが、そこまでの改革はしない。(田沼:もっと踏み込むべきです!)

## 教育行政の問題点



**教育行政の無責任体質を許さない。**これが、維新の会の主張の根幹です。現在は、首長が教育に口を出せず(左図参照)、また教育委員は、事務局を監督できておらず、誰からのチェックも及ばない仕組みになっています。つまり、**民意が反映されない**のです。それゆえ、教育長以下、事務局は無責任体質・事なかれ主義に。

この制度は、**戦後何も変わらないままここまで来てしまった。**大津市のいじめ事件や、大阪市の桜宮高校の体罰事件等、制度にきしみがでてきているのは間違いありません。**私達日本維新の会はこの制度の廃止まで踏み込むべきと考えています。**引き続き追求します！

お気軽にご連絡ください♪

千葉事務所 稲毛区小仲台4-14-8  
TEL 043-253-9610(必ずお返事します)  
FAX 043-253-7255  
国会事務所 衆議院第2議員会館416号室

Mail office@tanuma.info  
HP http://tanuma.info  
Blog http://ameblo.jp/tanuma  
Twitter @tanumatakashi

